

復旧復興支援部会シンポジウム企画

2012年3月23日

18:00~

建築会館

進行 宇野求（建築家）

企画説明・復旧復興支援部会部会長 布野修司
（滋賀県立大学教授・建築学）

〒108-8414

建築会館（東京都港区芝5丁目26番20号）

JR 田町駅、都営地下鉄三田駅（浅草線・三田線）徒歩3分

TEL 03-3456-2051

FAX 03-3456-2058

第一部 公共建築と民主主義

基調講演 山本理顕（建築家）

大震災後、「建築」と「意思」の再構築が迫られている。個々の建物はもちろん、街全体、さらには、土地そのものが破壊された中で、私たちは、そこに何を「建築」すべきなのか。また、そのための「意思」はどのように造られなくてはならないのか。このような問題を考えるためには、あきれるほどに根本的で抽象的な問題群を考えなくてはならない。そこで、まずは、公共建築、そして、そのための意思決定、民主主義のありよう、その現状について、考えてみたい。

復興の原理としての法、そして建築

第二部 地域社会圏・復興のための住宅・プライベート

大震災からの復興のためにやらなくてはならないことは、山ほどある。漁船、港、畑といった産業インフラ、道路や橋、上下水道などの都市インフラの復興はもちろん、町や村などの地方公共団体それ自体を0に近い状態から復興させなくてはならない地域もある。そういう意味で、復興のために議論しなくてはならない「各論」は、あまりにも多い。ここでは、「復興のための住宅」というテーマで「各論」を展開してみたい。

パネルディスカッション

モデレーター 木村草太（首都大学東京准教授・憲法学）

山本理顕（建築家）

松山巖（小説家・評論家）

内藤廣（建築家）

駒村圭吾（慶應義塾大学教授・憲法学）

石川健治（東京大学教授・憲法学）